湯川村立小中学校整備委員会　第４回会議録【外部資料】

１　日　時
令和８年８月７日（金）午後４時 30 分～午後６時 00 分

２　場　所
湯川村役場会議室

３　出席委員
２３名中１４名

４　出席事務局等
〇教育委員会４名
教育長、次長、他２名
〇一般財団法人ふくしま市町村支援機構２名

（開会　午後４時 30 分）

教育次長が進行を行った。

１　開会
教育次長が開会を宣言した。

２　教育長あいさつ
こんにちは。
暑い中、それから今日は３時半から湯川中学校の視察ということで、御都合をつけて頂いた方がたくさんいらっしゃいます。
また、８月４日には本郷学園の視察もしていただきました。頻繁にこの湯川村立小中学校の整備についてのご意見を賜るということで、御都合をつけて頂いて本当にありがとうございます。
今回は、12 年度開校を目指せるよう一部スケジュールを組み直した部分について説明もありますが、皆さんから、教員の立場から、保護者の立場・住民の立場から活発なご意見を頂戴しながら、より良い学校作りを目指していきたいと思っています。
どうぞよろしくお願いいたします。

３　委員長あいさつ

皆さん、こんにちは。

今日は湯川中学校の視察、本当にありがとうございました。

また、４日に本郷学園の視察をして参りました。

本郷学園を視察して、やはり須賀川の稲田学園、湖南小中学校同様に色々なところで工夫してあると思いました。そういった工夫を建設会社がやっているのか、それとも建設会社と先生方が、よく話し合って決めていったのか、お聞きしたかったのですがそこまでは聞き取れませんでした。

子どもたちが学習しやすい環境をどのように整備していくのか、それが一番でそれを頭に入れながら建設にあたっていきたいと思っています。

今日は前回のコンセプトの修正案や、共用部分の修正案、教室のゾーニング、建設場所のイメージ等について教育委員会のほうから説明がありますので、皆さんの忌憚のない御意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

４　説明・協議事項

施設視察について学校教育係長、片桐が報告した。

【質疑応答】

教育長　　本郷学園さんは中学校に校長先生と教頭先生、小学校に副校長先生と、教頭先生はいらっしゃらなくて、主幹教諭の先生がいらっしゃる、そのような職員配置でした。

委員長　　本郷学園は教室のロッカーなどもだいぶ大きくて、ランドセルと運動着が余裕で入る造りになっていました。

また、理科室と家庭科室の床ですが、ビーカーや食器を落としても割れないクッション性のある床になっていました。

それと６年生は 50 分授業でしたが、通常より長い５分間は集計して、授業時間数として計上し、自由裁量できる時間を生み出す工夫をしていました。

６年生の終わりには進級式程度で、卒業式のような儀式的なことは行っていないそうです。

トイレの数も多かったです。

また授業では１校時目と３校時目と５校時目の開始の時刻を、中学校と合わせて、中学校の先生が小学校へ来て授業を行う「乗

り入れ授業」をやりやすくしています。
ただ問題は、６年生が中学校の校舎側へ行ってしまっているので小学校は新しいですが、５年生が１番上の最上級生になるそうです。
それで何か問題はないか聞いたら、５年生では未熟で、リーダー性が十分に育たないというお話もありました。
本郷学園は一小と二小が合併したのですが、一小学区は集団登校、もう二小学区はスクールバスで通学しています。
中学校は自転車通学なので今までと同じです。
中学校の校舎は建ててから 16 年ぐらいなのでまだ新しいです。
小学校の校舎は、稲田学園や湖南小中学校と同じように、外観はコンクリートで、室内に入ると木目調でとても明るい学校でした。
コンクリートと木造のそれぞれの良いところを取り入れているなと感じました。

（１）「学校コンセプト修正案」について、学校教育係長片桐が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

委員長　皆さんから質問ありましたらどうぞ。

委員　５ページ目のコンセプトの④の下のところの黒で書かれているところ、異学年交流や地域の「人と人とのつながる場」の創出と書いてありますが、これはどんなものを想定して、ここに入っているのか、お聞きしたいです。おそらく一つは図書館のことを指しているのではと思いますが、他にありましたらお願いします。

事務局　学年交流や地域の人とつながる場の創出は、多目的スペースだったり、交流スペースをイメージしておりまして、その交流スペースを使って、いろんな地域の人との関わり合いを持てるような学習など、異学年交流できるような児童と生徒が一緒になって作業できるようなそんなイメージをして、この文言にしました。

次長　図書館については、本郷学園も視察して来て、本当に素晴らしい参考になる図書館だと思いました。
図書館については庁内でも今協議しているところです。
複合施設については、今立ち止まっている状況ですが、複合施設の計画がなくなったわけではなく、図書館については村としては複合施設として造る予定です。学校の図書室は村民が自由に入れるようにはしない方向で庁内で話し合っています。

この整備委員会で頂いた様々な御意見については伝えていきたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

委員　今少し安心したのは、図書館を核にして、交流スペースを作っていくという考えではないということですね。

そうすると、その多目的スペースというのが具体的にどういう形になるのか、例えば、地域の人との交流の場でも、それから中学校と小学校の交流の場、または小学生の異学年同士の交流の場であるということで考えていくということでよろしいでしょうか。

そうなると、結構大きなスペースをとらないと実現は難しいのではないかという感じがしますが、例えば、交流スペースをどんなふうにするのか、本郷学園では階段のところに座って観覧できるような、そして反対側のほうには、やはり段差のあるスペースがあり、そこをステージにしている造り方になっていたと思います。

そうすると、階段を広目にとらないといけない、そこに全校の児童が座ったりするようなスペースとなると、大きな階段を上がって踊り場があって、反対方向に進んで、２階に上がっていくということになると、西側に大きなスペースが必要になるのではと思います。

その辺については、まだ具体的に計画がなければ結構ですが聞かせて頂ければと思います。

事務局　具体的なものはありませんが、今まで見てきた施設など参考になるところを取り入れながら、新しい校舎の方で検討していきたいと思っています。

委員　結局、考えていく時に中学校も見てきたわけなので、そういうスペースをどこに作ればいいのか、建設していくには大きな一つのポイントになるのではないかと思って質問させていただきました。

あとは普通教室等、どのくらいの幅にするのかどのくらいの長さにするかで、大きさは決まってくるのではと思います。

交流スペースをどのようにするのかイメージできる感じがないので、その辺を大まかに、この辺に作りたいという案があれば教えていただきたいと思います。

事務局　それも、これから考えていくところです。ただゾーニングということで、後ほど少しその辺もお話ししたいと思います。

委員長　体育館で発表はできますが、オープンスペースを平面的でなくて階段状にして、下にある音楽室とつなげたりしてステージに早変わりする、そういった工夫はなかなか面白いと思います。

他に何かありませんか。

委員　施設設備コンセプトというのは、学校という空間がどんな価値を生んで、どんな学びを支えるために存在するかということを言葉にしたものだと思います。

この施設設備コンセプトを読んで、こういう学校になりますよというのが分かるのが大切ではないかと思います。

最初の新たな学校の姿ということで、湯川村が大好きなゆがわっ子を育み、子どもたちの夢を実現できる、こういう学校を作っていきたいというのは分かります。細かく書くと、1番から「個性や多様性を認め合い」、「学びが広がって」、「社会を生き抜き人生を切り開く力が身につく学校」、「しなやかにたくましく生き抜くレジリエンス教育の推進」ということ。それはどういうことなのだろうと思います。

具体性がないのかなと、文言だけが前面に出てかっこよく形は作っていますが、具体的にどういうふうにする、どんな工夫をしていくのか、これを読んだだけでは、こういう学校ができるんだなというのが見えてこないと思います。

私はこのコンセプトを読んでも、全くどういう学校になるのだろうというのは見えてきません。見えてこないのは私だけかもしれませんが、文言だけではなく、より具体的に「こうだからこういうふうな施設設備を作っていきたい」というふうに繋げたものがあるとより分かりやすいのではないかと思います。

教育長　他の方からも御意見頂戴できればと思います。

委員　施設整備コンセプト４番の学年交流や地域の人とつながるの創出と書いてありますが、どんなことを地域の人等とやっていくのかよく分からないですが、他の学校ではどんなことをやっていたりするのでしょうか。またどんなことを目標にしていますか。

教育長　一つは今でも地域の方々にいろんな形でお世話になりながら教育活動が進められています。

昔遊びをしたり、ニュースポーツを体験したりして、そういった部分も地域の方との交流ですし、学年交流、例えば高学年が低学年のお世話をするとか、一緒に遊んであげるとか、そういった「お世話活動」もあります。もう少し専門的な言い方をすると、ピアサポートの一つでもありますが、そういった異学年交流、異学年の学習活動、そういったものが、もっとしやすくなると思います。

また、小学生と中学生の間での異学年交流も可能にしていきたい

と考えています。

委員　今のお話とかぶるような気もしますが、教育委員会でも地域学校協働活動ということで取組みをして地域の人たちに学校に協力して頂いているところです。

以前、研究大会を聞いた時に河東学園では地域の方と先生が一緒に相談しながら、どういった取り組みをしたらいいかなどの話合いができる部屋がありました。そういう部屋もあれば良いのかと思いました。

教育長　先ほど申し上げた交流スペースがそういった部屋になるかもしれませんし、別にそういった目的の部屋を作るかもしれないし、この後ご意見頂ければと思います。

委員　先ほどお話にありましたが、階段を使ってのスペース、私が通っていた中学校も大階段と呼ばれるとても大きい階段があるところで学年集会を開いたり、集合写真を撮ったりして、思い出の場所の一つになっています。

文化祭でモザイクアートを階段を使ってやってみたり、いろんな使い方ができるので楽しい気持ちにもなりますし、使い勝手は悪くないと思いました。

委員　私は会津美里町のかなり山奥のほうが実家で、全校生徒 12 人しかいないような小学校でした。

例えば今このコンセプトの６番にあるような、自然環境に配慮した災害時にも安心・安全な学校という形でありますが、私が育った小学校だと、もうそこしか逃げる場所がなくて、例えば防災に特化している形を私はちょっと分からないですが、湯川村には逃げ込める場所というのがないように思います。

防災施設としての機能の整備と書いてありますが、そういったところで何か今考えているところだったり、あとは今自然災害で豪雨だったり地震が多かったりするので、例えば壊れないだけの校舎を作るのか、中に防災として地域の方が逃げられるような場所を作るのか、どのような形で安心・安全な学校を考えているのかお聞きしたいです。

次長　今回施設整備コンセプトということで、湯川村は、土砂災害警報は県内で唯一発令されたことがない、災害に強いということが強みです。

ただ水防については平地なので「垂直避難する場所」という意味では中学校の３階建てとかになります。そういったことが非常に重要になってくるので、保育所や幼稚園などとも連携して、防災訓練も３階まで上がることもやっています。

この場所に建てる学校ということで垂直避難も含めて、また体育館もクーラーとかの問題もありますが、体育館を避難所として改めて位置づけていきます。

防災についての詳細は、そのような位置づけで、これからまた基本計画等、しっかりとしたものを造っていきたいというコンセプトになります。

なかなか施設整備のコンセプトが見えてこないという御意見もありますが、このような学校を造っていきたいという思いがあって、「たくましい、しなやかに社会を生き抜き人生を切り開く力」ということを１番目に掲げています。教育委員会として教育委員とも協議して御提案しています。

いろいろ御意見頂いて、検討してより良い学校を造っていきたいと思います。

委員長　　コンセプトですが、こういうような学校ということで進めていますが、黒字で書いてある部分、例えば⑤を見てください、「環境教育」や「防災教育の充実」というのは教育方針になります。ところが「防災施設としての機能の整備」これは建設方針になります。その辺が混ざっているので、もう一度整理したほうがいいと思います。

これは設備で設定している機能の整備なので、子どもたちがやるこ

とではないと思います。そういったところをもう 1 回整理していけば、充分なコンセプトになると思います。数字で書いてあるものは、全て「このような学校」と書いてありますので、それをもう少し整理した方がいいのではないかと思います。

教育長　　ありがとうございます。検討させていただきます。

（２）「共用部分の修正案」（３）「必要諸室のゾーニング」について

学校教育係長片桐が資料に基づいて説明をした。

【質疑応答】

委員長　　今ほど修正案と必要諸室のゾーニングについて説明を頂きましたが、何か質問ご意見ありますか。

委員　　最初に質問したところの交流スペースの形をどうするかといった時に、この案だと、ほぼほぼ四角く区切ったという案なので横並びに教室が配置されるようになると思います。

さっきお話したように楽しいというか、いろいろ交流ができるようなスペースを作ろうと思えば、横並びだけで良いのかなと思いました。例えばコの字型なども検討してみても良いのかなと思いました。

一つの考えとして、そういうものも提案して頂くと、もう少しイメージが湧きやすいのかと思います。

今のままだと、ゾーニングの②案をどこに作るのかなとか、最初の①案を見ていくとどの辺にできるかなと、自分がイメージしたものとはまた違うものですから、もう少し具体的にゾーニングをして頂けることはできないのかと思います。

支援機構　今回の資料の中でも、ゾーニングという部分で携わっておりましたので、若干補足させていただきます。

ゾーニングですが、まずこの検討案の１番最初についてる部分、中学校と小学校の区分であったり、どういった部分が連携するのかというようなところの施設の関係性というのを検討した資料といことがまず大前提ということになります。

今回この各室の広さにつきましては、現状の学校の教室サイズであるとか、そういうところを勘案して、ボリューム感をちょっと掴みたいなという意味合いで今回御提案させてもらいました。

案の①、案の②、案の③、このくらいのボリュームになるな、それをはめていくと、敷地のイメージがどうなるかなという段階の資料となっていますので、ここで例えば一つこのゾーニングということでイメージを深く持って頂ければという思いがありますが、例えば図書室と教室の関係性であるとか、交流スペースと教室というようなところのイメージというところについては、これからもう少し煮詰めていく部分ということになってきます。

今は少しボリューム感が見えていますが、敷地の中に置いたらどんな感じになるかなというところを掴む資料という段階になるので、今これから、ここととこの部屋は関係強くしたほうがいいとか、それはこれから検討させて頂きますので、まずは少しボリューム感、それを掴んで頂きたい資料であるというところで一旦、御確認、イメージしていただければなと思っております。

委員　　まだ具体的にはなっていないということでよろしいでしょうか。

これからどこでアイデアというか、そういう建物の構造というか、どういう広さでどんなふうになっていくというのはこれから提案して頂けるというふうに考えてよろしいですか。

支援機構　また、ご意見頂きながらまとめていければと思っております。

委員　　大体いつ頃それは出来上がるものでしょうか。

支援機構　イメージとしては、今基本構想という段階にあります。

具体的に各教室の広さが何人の教室、教員の数が何人だから、職員室は、このぐらいの広さが欲しいというところは、次の段階の基本計画という部分になってきます。

今はこの部屋とこの部屋の関係性とか、普通教室と職員室の関係性とか既存の中学校と小学校、交流は中庭を介した辺りにあった方が良いのでは、などというところのイメージを頂戴しながら、次の基本計画でより具体的な形状、そういったものがはっきりしてくるようになるかと思います。

委員　　そうするとあまり日前もないものですから、その基本計画を、ここの会議の中で提示して頂けるのか、それを知りたいです。例えば付け足してほしいとか、ここは要らないとか、そういった検討をするためにも、基本計画が大体いつ頃かだけでも分かれば、それに合わせて委員一人一人が「ここまでにはこんなことを決めておかなくてはならない」ということになると思うので教えて頂ければと思います。

支援機構　まだ基本構想というところで、まずは案の①、②、③の配置とうことでたたき台となっています。

場所①が良い、②が良い、③が良いと場所がはっきりしてくると、またより具体的な御提案ができると思います。

そんな中でボリュームを作っていくということが基本構想という第１段階になりますので、基本計画というのは第２段階で、これとはまた別な確認の中でやっていくようになります。

今は、例えば先ほど交流スペース、多目的スペースの話もありましが、こういうことをやりたいな、教室をこういう場所にしたいな職員室は小中学校が一つの部屋がいいのか、逆に別々に離れた方がいいのか、そういうところの使い勝手のイメージを確認頂く会なのかと思います。

その後、御意見を頂いて、次、基本計画という段階に切り替わった時から、より具体的な御提案となります。現状この構想の中ではイメ

ージを頂く、こんなふうにしたいな、こんな感じだと良いなという意見を頂くような場であるかと思います。

委員　大体、これからの行程は分かりました。

これを決定していく構想を大体具体的にしていくのは、基本的にこの整備委員会なのか、それとも教育委員会なのか、その辺の役割分担をはっきり認識したほうが良いと思うので、役割分担等について教えて頂ければと思います。

次長　１番最初にスケジュールということで第１回の会議でお配りしているスケジュールに沿って進めさせて頂いています。

今基本構想ということで整備委員会を開催しています。次の段階で基本計画と基本設計を一括で発注する予定でいます。そこでも整備委員会が継続しますので、整備委員会の皆様から御意見を頂いて進めていくという考えで当初からおります。今回、スケジュールの変更ということで、一覧をお示しいたしますが、これで今後のスケジュールを進めさせて頂きたいと思います。

８月の下旬に第５回の整備委員会ということで、今回ゾーニングの概要を説明しましたが、支援機構さんにも色々詳細な資料、比較検討できる資料を揃えて、ゾーニングの整理と建設場所の比較検討ということで予定しています。ここで、今、３つの案ということでお話ししていますが場所を決定したいと思っています。

この整備委員会で東、西、真ん中のどこがいいのかいうことで説明をさせて頂いております。

そうすると次の段階に、今ほど言ったコの字の形が良いとか、こういう形はどうかという段階に進むことができます。

基本構想なので、この後色々支援機構さんで、まとめて頂くのが、概ね１か月ほど見込む必要があるのではということです。そのあとに大きな事業ですのでパブリックコメントを開始して、同時に住民向け説明会を開催したいと思っています。

そのあとにパブコメの意見を頂いて、基本的にはこの整備検討委員会と教育委員会で色々決定した内容がありますので、その内容で御意見を頂いたのを修正をして、取り入れた方がいい案があれば取り入れることも考えながら、必要であれば整備委員会を開催し、教育委員会で最終的に基本構想を策定という形になります。その後に、次の基本計画と基本設計になるかと思います。

基本計画・基本設計の予算については議会で補正予算を頂いて、それからまた新たに年度を越しながら進んでいくという予定で基本計画と基本設計を来年の９月末ぐらいまでに、この整備委員会を継続して開催しながら進めていく予定でいます。そこでまた意見も取り入れながら進めていくというふうに考えています。

委員　大体、予定はこういうふうに進んでいくというのは大まかに掴めましたが、決定するのは、この整備委員会なのか、それとも何でもいいから意見を出させて頂いて決定するのは、あくまでも教育委員会だという考え方でいいのかをお聞きしたかったです。

そうすると、もっと自由に皆さん発言しやすいのではないか、また焦点が絞られていないので、このことについては、この委員会で話してほしいとか、そういうものがあった方が良いのではないかと思います。

次長　様々な御意見を頂いて、もしそこで、いやこちらが良いとなれば、最終的には教育委員会のほうで案をまとめさせて頂いてパブリックコメントとさせて頂きたいと考えています。

比較検討していただけるように次回までに資料を用意したいと思います。

教育委員会でもよく検討した中で、整備委員会の皆様に説明をしたいと思っていますので、次回の第５回でこれからの方向性を決定できればと思っています。

委員長　配置検討についてやっていきたいと思います。

今支援機構さんもおいでいただいていますので、例えば、配置検討案①を御覧ください。

例えば中学校の東側、今の駐車場に建てる場合、まず車の動線が少し不安になると思います。ここに建てるとなると３階建てになります。

２階建てにするとずっと南側に延びる感じです。

そういったところはどうなのかと思います。

検討案②だと校舎は東西に長い感じになり校庭に食い込むようになる。さらに管理棟、職員室をそこに持ってくるとなると、中学校と随分離れてしまうのかと思います。

検討案③だと、どれくらい幅を取ってしまうのかが不安になります。

図で見ると体育館の南端に合わせての延長上までになっていますが、それで建てられるのかどうか、そういったところも問題になるかと思います。

検討案③だと、通学バス、送迎車とか配送車は、一方通行の流れで何とかできるといったところで、その辺を見て頂きながら支援機構さんからも御意見頂ければと思います。

委員　どこに建てるのか考えた時に、前から良いと思っていたのは③案で、もしここに建てるとすれば、どういう眺めになるのか、校庭はどのくらい狭くなるのか、どのくらい体育館の方に張り出すのかというのを先ほど見させてもらいました。ある程度校庭に食い込むか、それとも今ある中学校の中庭を削るか、少し形を変えていくかであれば、割とすっきりした形になるのではないかと私は思って見てきました。まだ個人的なので、実際もし、ここに建てればここがこうなります等、具体的なところをこの委員会で決定するのであれば、教えて頂きたいです。

具体的なポイントを持って、この委員会を開かないと結論は出しにくいのではないかと思いますのでその辺をお願いしたいです。

支援機構　まさに御意見のとおりであります。先ほど委員長の方からも補足頂いてありがとうございます。

案の①はこうです、案の②はこうです、案の③はこうです、というイメージを少し共有できれば良かったと、そこが足りなかったので申し訳なかったです。

ではメリット・デメリットはどういうふうになるのかと思い、皆さんの意見を色々お伺いしたいと思っていました。

それをまとめて比較表、○×△ではないですが整理をして、その都度意見を頂いて段階を踏んで決定に持っていきたいと思っています。

今日、その辺の御説明が足りなかったというところと、我々の頭の中で組立てた部分が共有できていなかったので、大変申し訳なかったです。

今、案③ということで仮に少しお話ししますと、新しい校舎、既存の校舎等の位置関係というのもそうですが、遠目で見た時に体育館の南面の壁と新校舎の壁が一直線に並んでいるとか、「うつり」という言い方をしますが、そういうところを建築は気にします。

それで今度案③の場所でやったときに、横長・奥行きということになってくると、既存校舎との関係とか、そういうことも改めて検討していく材料になってきます。

まずフリーで御意見を頂ければ、比較表的に整理して、意見を頂いてまとめるために、次回にはそんな資料を準備し、これが良いのではというベストな意見を頂戴したいと思っています。

委員　配置図検討案③ですが、この位置をもうちょっと校舎のほうに建設することもできるとおっしゃっていましたが、この縁石部分で給食車の配膳車が切り返しをするので、ここから校舎側にずらすというのはそこの部分も考えて頂かないといけないかと思いました。あとはここに建てるとなると、野球のボールが飛ぶのも心配かなと思います。

また村政座談会の資料を見させて頂いた時に、村民運動会で使うのに狭くなるのではないか、消防の訓練等で使うのに校庭が狭くなるのではないかという意見も何件か入っていたようなので、そういうところも少し考えて頂ければと思います。

支援機構　貴重な御意見ありがとうございます。

まさにそのとおりでして、これをどれだけ寄せられるのか、逆に校庭側にどれだけせり出していいのかというのは、まさにこの比較検討、メリット・デメリットということになります。

動線ということを考えた時に、中学校に行く子、小学校に行く子そこを車が通る、人が通る動線の交差、そういうのも配慮して、できれば給食車が一筆書きで小学校に配膳して中学校に入って配膳して出ていく、そういうところもやらなくてはいけないかと思います。

あと法律的なこともございます。

既存の校舎に寄り過ぎると日照、日陰というのも当然発生しますので、それがかからない、あるいは朝だけかかっても日中はかからないとか、いろいろ検討の基準があります。

その辺もクリアしながら、双方快適な位置取りということで、校舎を考える必要があります。

もちろん、この校庭ですが大分広いなという印象はありますが、校庭で何をするのか、運動会とか野球部活になれば、練習だけでいいのか、それとも中体連等の公式戦で使うグランドにしなくてはいけないとか、そういうところも検討の枠組みに入ってくると思います。

今、おっしゃって頂いたことを我々もよく考え、充分検討していきたいと思います。

委員　今、動線の話が出たところで、保育所の保護者としては、子どもが保育所から出て駐車場に向かうのに、道路を横断しますが、保育所の保護者は、一方通行で南の方の入り口から入って駐車場に停めて北側の出口から出てきます。それと逆になって児童クラブとかのお迎えが来たりすると、ここは怖いなというのが正直なところです。

私としては配置検討案の②が、そこだけ見たら良いのかと思いました。ただ、小学校にも保育所にも子どもがいてどちらにも迎えに行かなくてはと考えると、やはり案③のほうが良いのかなというところはありますが、進入経路だけは慎重に考えて頂きたいと思います。

教育長　今頂いた進入経路については、我々事務局も保育所の前に、直接に県道から車が進入するようなことはよくないと考えています。

先ほども少し出ましたが、例えばゲートボール場を駐車場に変えるとか、そういったことも考えながら、子どもたちの安全に支障がないように考えていきますのでよろしくお願いします。

委員　加えて、私も今、子どもが保育所に通っていますが、テニスコートへの入り口が非常に狭く物凄く渋滞します。

雪が降った時、去年と一昨年で、ここで車がスタックしているのを３台ぐらい助けています。ここが本当に不便で、まず２台同時にすれ違うことができないので、ここを小学校や中学校の送迎に使ってしまうと、保育所に入る時に時間がかかると思います。

このテニスコートの入り口を広げてもらうとか、駐車場も少ないと思うので、そういったところも少し考えて頂ければと思うのでよろしくお願いします。

委員　検討案②ですが、南側のスペースが空いていると思いますが、これから小学校の遊具なんかも設置していく予定だと思うので、そういうことも考えながら校庭の使い方も考えて頂ければありがたいと思います。あと小学校の築山、もしこのままスキーを続けていくのであれば、築山等も作っていかないといけないと思います。そういうのも総合的に、小学校の遊具とか、築山を作るところと建物という感じで併せて考えて頂けるとありがたいと思います。

次長　駐車場入り口の件ですが、ここは本当に狭くて、役場ではボックスカルバート（U 字溝）を何年か前に改良はしていますが、ここを広げるというのは県道に接続していますし、困難なところがあります。こ

れは庁内で話し合いながら進めたいと思います。大きな課題の一つだと認識しておりますので、大至急検討していきたいと思います。

遊具のほうも充分検討してまいります。

委員　バス関係の送迎ということも考えましてお話しさせて頂ければと思います。夏場だけではなく冬場の送迎関係、結局、除雪関係も優先的にやって頂いていますが、②案ですと、除雪をする範囲というのが、保育所前もそうですし、中学校職員駐車場、幼稚園や役場の駐車場、通園バスを置くのであれば、その分の除雪がきちんとできるのか把握するというのが、なかなか難しくなってくるのではと思いました。

バスを運行するに当たっても、新しい校舎の方で、子どもたちが乗り降りするのが入口に近い場所、動線がきちんと確保できる方が良いのではというふうに思います。

避難経路関係がどうしても、中学校の校舎の方が校庭に避難するまでに距離があるのではという部分がありますが、これについては今と変わらないので案③がいいのかなと個人的には思いました。

ただやはり、先ほどお話しされたように、隣接している保育所の子どもたちの送迎関係、あと私も保育所に勤務したことがありましたが、その時にテニスコートわきの駐車場に入るのにも怖かったので、入口を広げて頂けたらいいなと思います。

また案②のように、例えば駐車場を作るとなると、２か所、冬場の除雪がしてあるかを確認しなくてはいけなくなるので、結構労力になると思います。

基本、やはり子どもたちが安心・安全だと、お家の方が時間変わらず、子どもたちも学校生活も変わらなく登下校できるということが一番だと思うので、冬場のことも考慮した案になると良いのではと思いました。

委員長　ありがとうございます。

ご意見用紙を配っております。ここに書いて頂いて配置検討案を見ていただいて提出して頂ければと思います。

（４）「スクールバス等の整備」について学校教育係片桐が資料に基づき説明した。

【質疑応答】

なし。

（５）その他

事務局より事務連絡をした。

５　閉会

教育次長が閉会を宣言した。

（閉会　午後６時 10 分）